

計画の趣旨

わが国の平均寿命は、世界最高の水準にあります。しかし、人口の高齢化とともに、がん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病が増加し社会問題となっています。生活習慣病は生命を脅かすだけでなく、身体の機能や生活の質（QOL）を低下させる原因ともなります。また、それにつれて要介護状態になる人が増加し、介護者や家族への負担も大きくなっています。

こうした中、国では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を築くため、平成 12 年 3 月『21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21）』を、平成 12 年 11 月に親と子が健やかに暮らせる社会づくりを目指す『健やか親子 21』を策定しました。また、愛知県では、平成 13 年 3 月『健康日本 21 あいち計画』が策定されました。

また、国民の健康増進の推進を図るため、平成 15 年 5 月に『健康増進法』が施行され、市民の健康の増進に関する施策についての計画の策定に努めるよう定められました。

江南市では、市民みんなで病気や寝たきりなどにならないように日頃から自分にあった健康づくりを実践し、『健康で思いやりと幸せあふれるまちづくり』を実現するために、市民と行政が一緒になって健康づくりを推進していくため計画を策定します。

